

令和3年9月16日

取手市議会議長

齋藤久代 殿

福祉厚生常任委員会

委員長 石井めぐみ

委員会中間報告書

本委員会に付託の調査事件について、会議規則第45条の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 調査事件名 令和3年第1回意見交換会時要望・意見に関する当委員会所管事務
- 2 調査の経過 令和3年6月17日，9月9日
- 3 意 見 別紙のとおり

【福祉厚生常任委員会】 令和3年第1回市民との意見交換会（要望・意見）

	要望・意見	回答
1	<p>シニアのスマホ保有率は7割。しかし、使っているのはほとんど電話機能のみ。スマホは電話ではなく情報収集ツールであるという認識に変わる必要がある。Zoomに興味のある人は潜在的にいと感じている。</p> <p>高齢者の孤立化防止に、どのようにオンラインを活用するか検討を。今後も推進を。</p>	<p>スマホの活用は、高齢者の孤立化防止の一助になり得ると考えております。情報収集ツールとして扱うことができるようにするための知識を得る場・チャレンジする場については、市や企業、地域が、それぞれ設けています。</p> <p>孤立化防止の取組の一例として、新型コロナウイルス感染症で直接的な接触を控えざるを得ない問題を解消するために、市民ボランティア団体「憩い・オンライン」が令和2年に市内に発足したことが挙げられます。今後、高齢者を含む市民・ボランティア団体のオンライン利用推進について活動する予定です。</p> <p>また、2020年閣議決定された「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」に示された「誰一人取り残さない、人にやさしいデジタル化」という構想を実現するために策定された「自治体デジタル・トランスフォーメーション推進計画」に基づき、高齢者のデジタルデバイド解消に向けた様々な取組を行う予定とのことで、市議会としても今後の取組を注視してまいりたいと考えます。</p>